

# 宮城県内の「城・要害跡」を訪ねよう

政府跡前には発掘調査を基に復元されたレプリカが置かれている



## 多賀城市 多賀城跡

### 東北の行政・軍事の中心地



平城京からの距離や多賀城の創建などについて刻まれた多賀城碑

多賀城市市川の小高い丘に位置する多賀城跡。付属寺院である多賀城廃寺跡とともに特別史跡に指定されていて、奈良の平城宮跡、福岡の大宰府跡とともに日本の三大史跡の一つに数えられる。見学は自由。

724年、当時の東北地方の最高責任者の大野東人（おおののあずまひと）によって創建されたといわれる。陸奥国府と鎮守府が置かれ、東北地方の行政や軍事の中心地だったとされる。

多賀城跡をはじめとした多賀城の史跡や名所を巡るなら、レンタサイクル（1時間100円）の利用がお勧め。JR仙石線多賀城駅観光案内所とJR東北線国府多賀城駅観光案内所で貸し出している。詳細はホームページで確認を。

**多賀城跡**  
 多賀城市市川  
 問/多賀城市観光協会  
 TEL022-364-5901



本丸から見た天守閣

## 白石市 白石城

### 伊達家重臣・片倉家の居城

伊達政宗に仕えた片倉小十郎景綱。伊達家随一の名参謀で、その智将ぶりは豊臣秀吉や徳川家康からも高い評価を得た。1602年に白石城1万3000石を拝領。戊辰戦争で敗れるまでの約260年間、11代にわたって片倉家の居城となり仙台藩の南の要衝として重要な役目を担った。1874年に城は解体。1995年、城郭として機能した最晩年の構造にできるだけ忠実に、天守閣や大手門、本丸の一部を復元した。天守閣は3階建てで、戦後の木造復元天守閣としては高さ、広さともに日本最大級を



片倉家の気風を現代に伝える「片倉家中武家屋敷」

誇る。柱は奈良県吉野産ヒノキ、床は青森県産ヒバが使われている。敷地内にある「歴史探訪ミュージアム」には江戸時代後期の白石城と周辺城下町を500分の1のスケールで表現した立体模型、片倉家ゆかりの品々が展示されている。立体ハイビジョンシアターもあり、「大坂夏の陣」や、戊辰戦争の際に東北・北陸の諸藩が白石城で結んだ「奥羽越列藩同盟」にまつわるエピソードを上映している。

白石城から北へ徒歩約10分の所には県指定文化財の「片倉家中武家屋敷」がある。屋敷の前は三の丸外堀を兼ねた沢端川が静かに流れ、景観的にも優れている。

**白石城**  
 白石市益岡町1-16  
 入館料/一般300円、小中高生150円（「白石城」「立体ハイビジョンシアター」「片倉家中武家屋敷」の共通券もある）  
 開館時間/9:00~17:00  
 （11~3月は16:00まで、入館は閉館の30分前まで）  
 休/12月28日~31日 TEL0224-24-3030